

今冬の電力需給見通しについて

平成28年10月28日
北陸電力株式会社

本日、政府の「電力需給に関する検討会合」において、今冬の電力需給対策及び北陸エリアにおける今冬の電力需給見通しが示されたのでお知らせいたします。

今冬の電力需給見通しについては、電力広域的運用推進機関の「調整力及び需給バランス評価等に関する委員会」で検証が進められ、経済産業省の「電力・ガス基本政策小委員会」にて審議されてきました。その結果を踏まえ、本日、政府の「電力需給に関する検討会合」において今冬の電力需給対策が決定されました。

この会合において、卸電力取引市場の活用等が行われることにより全エリアで供給力を確保できる見通しが示され、今夏に引き続き、政府として特別な節電を実施しないこととなりました。一方で、大規模な電源脱落等により電力需給がひっ迫する場合への備えとして対策を行うことも示されました。

当社としても志賀原子力発電所が停止している中、今後の気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況となるため、電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

今回の政府の決定を踏まえ、今冬はお客さまへの特別な節電のお願いは行ないませんが、引き続き電気の効率的なご使用にご協力をお願い申し上げます。

以 上

添付資料：北陸エリアにおける今冬の電力需給バランス

今冬の北陸エリア電力需給バランス

厳寒(2011年度並みの気温)の場合

[送電端、単位:万kW, %]

	12月	1月	2月	3月
供給力	536	569	558	528
最大電力※	495	515	515	493
供給予備力	41	54	43	35
供給予備率	8.3	10.5	8.3	7.0

※節電影響による需要減(▲10万kW)＋厳寒による需要増(＋13万kW)を織込み

(注1)電力・ガス基本政策小委員会「電力需給検証報告書」より

(注2)上記の最大電力はいずれも一日最大で想定している